

『とんどさん』で一年の無病息災を祈る

黒坂地区コミュニティ推進協議会主催でとんどさん



火を囲み祈願する姿や談笑する姿が見られました



甘くて温かいぜんざいに笑顔いっぱい

一年の無病息災を願う地域行事、とんどさんが、1月12日、黒坂コミュニティ推進協議会（中原明会長）主催で開かれました。

当日は、会場となった黒坂小学校校庭に、黒坂地区などから約100人が正月飾りや書き初めなどを集まりました。

はじめに中原会長が「ひつじ年には『平和』なイメージがあります。皆さんにとってこの一年が平穏な年となるよう祈っています」と話したほか「とんどさんを通して地域の伝統文化を継承して欲しい」とあいさつしました。

雪が降りしきる中、校庭の中央に立てられた約20斤の竹を囲んで地域の住民や子どもによる火入れが行われ、参加者は燃え盛る炎に家内安全や無病息災などを祈っていました。

また、会場では冷え切った体を温めてもらおうとぜんざいが振る舞われました。ぜんざいは地域のボランティアが前日から準備したもので、「今年もよろしく願います」と声を掛けながら渡していました。参加者は「おいしい」「あったかい」と笑顔で食べながら談笑する姿も見られ、交流を深めました。

みんなで水かけ、にぎやかな厄落とし

菅福地区伝統奇習行事「ホトホト」

みのかさ姿のホトホト役に水をかけて厄を払う、伝統奇習行事「ホトホト」（里山元氣塾主催）が、2月7日に行われました。

これは、厄年を迎える人の家庭に、みのかさを付けた神の使い「ホトホト」が、菅福神社のお札やわらの馬、しめ縄などの縁起物を持って訪れ、家の人から祝儀の品を受け取って帰るところに水をかけると厄が落ちるといわれるもので、古くから菅福地区に伝わる伝統行事です。

今年も、数え年で42歳と61歳を迎える7件の家庭で行われ、気温が約3℃と冷え込む中、「ほとほと、ほとほと」と言いつつ訪れたホトホト役の男性らに、家族や近



家族や近所の人も総出で勢いよく水をかける

所の住民らが総出で水をかけ厄を落としていました。対象となった家庭では「厄落としがしつかりできました。今年1年元気に過ごせるといいです」といった声が聞かれました。

また、ホトホト役には地域おこし協力隊の石村勇人さんと眞崎愛さんも参加。眞崎さんは初めての参加となり、みのかさ姿で水をかけられ笑顔を見せていました。

当日は、家族や近所の子どもも参加し、ホトホト役に勢いよく水をかけたり、笑顔ではしゃいだりと、大人に交じって地域の伝統行事を楽しむ様子が見られました。



厄を落とし、1年の無事をみんなで祈願



大人も子どもも寒げいこで心身を鍛える

日野川で恒例の空手寒げいこ



一つ一つの突きに気合を込めて

晴天に恵まれた今年の日野川ですが、水温は低く子どもたちは寒さに身を震わせながらも、家族らの声援を背に勇気を出して川に入り、「えいっ、えいっ」とかけ声を合わせ、突きを出していました。終わつた後は、みんなりりしい表情になり、厳しいけいこをやり遂げた充実感でいっぱいの様子でした。



一年の成果として躍動感あふれる演武を披露

寒さの中で心身を引き締め、今年一年の精進を誓う、日本少林寺流空手道錬成会館鳥取地区本部（音田守本部長）による空手寒げいこが、1月25日、町山村開発センターと日野川で行われました。当日は、郡内の小学生を中心として県内外から多くの会員が参加。はじめに音田本部長が「子どもたちは1年間練習を続けてきた。これからも空手を通じて子どもを家庭、地域ぐるみで成長させていかなければならない」と話し、「今日はみんなの晴れの舞台。力いっぱいがんばるように」と激励しました。

感謝の気持ちを込め、よいしよ、よいしよ  
根雨小学校もちつき大会



「上手くできた?」「丸くだよ」

つきあがったもちちは、児童が地域の人に教わりながら丸めていき、ぜんざいやきな粉もちなどにして食べました。寒さをふきとばす笑顔や歓声が響いたにぎやかなもちつき大会となりました。



蒸しあがった熱々のもちを一生懸命つきあげる

児童が育てたもち米を使ったもちつき大会が、1月17日、根雨小学校体育館で開かれました。これは、米の栽培から収穫までを児童が行いコメの大切さを知ってもらおうと、根雨小学校が総合学習の一環として行っているもので、今年で27年目を迎える毎年恒例の行事となっています。はじめに、5年生がコメ栽培を通して学習したことや感じたことを発表。田起こしやはで干しなどの一つ一つの作業を通し、コメがたくさんの人の支えで作られていることを知り、普段当たり前のように食べているコメの大切さを感じたようでした。